資料１

喫煙率の減少及び受動喫煙防止に向けた取組について

広島市健康福祉局　保健部　健康推進課

目 次

01 分煙施設における取組

02 今年度の取組

01　分煙施設における取組

■禁煙に関する啓発ポスターの掲示

喫煙者の約2割の人（5人に1人）がタバコをやめたいと思っている現状（※）を踏まえ、実証実験で設置している分煙施設に2種類のポスターを掲示し、禁煙への後押しや、禁煙サポート体制について啓発する。

（※）令和5年国民健康・栄養調査



（① 喫煙の害に関する啓発のポスター）



【分煙施設内のポスター掲示の様子】



（② 禁煙のサポート体制についてのポスター）

01　分煙施設における取組

■QRコードアクセス数の評価

各月のアクセス件数

■ 分煙施設

	平日	土・日・祝日	合計
令和7年12月	28	1	29
令和8年1月	27	0	27
2月	7	0	7
3月	11	5	16
4月	7	1	8
5月	9	2	11
6月	18	0	18
7月	1	0	1
合計	108	9	117

■ 公衆喫煙所6か所

	平日	土・日・祝日	合計
令和7年12月	18	13	31
令和8年1月	11	7	18
2月	14	4	18
3月	7	8	15
4月	15	6	21
5月	9	9	18
6月	17	1	18
7月	12	0	12
合計	103	48	151

・アクセス件数について、分煙施設は減少傾向にあり、公衆喫煙所6か所は横ばいで推移している。

・分煙施設の土・日・祝日のアクセス件数は依然として少ない。

01 分煙施設における取組

■ 啓発ポスター①のデザイン変更

コンセプト	喫煙の害に関する啓発

メッセージの内容

・健康増進法に基づく喫煙者の受動喫煙の配慮義務の遵守があること
・主流煙より副流煙の害が大きいこと
・加熱式タバコの健康影響があること



変更のポイント

・喫煙者に語りかけるメッセージ部分を強調し、ポスターに目が行くようにしている。



01　分煙施設における取組

■ 啓発ポスター②のデザイン変更

コンセプト	禁煙のサポート体制について

メッセージの内容

- 禁煙外来の紹介
- 相談先である保健センターの周知



変更のポイント

・禁煙という目標（ゴール）に向かって、医療従事者が伴走して禁煙支援をしていくイメージを表している。



01　分煙施設における取組

■　分煙施設外壁へのポスター掲示

分煙施設周辺に吸い殻のぽい捨てがみられることから、受動喫煙対策をさらに推進するため、分煙施設の外壁にも新たに受動喫煙防止等の周知ポスターを掲示する。





02 今年度の取組

■イエローグリーンライトアップキャンペーン

世界禁煙デー（5月31日）に合わせ、広島県医師会と広島市が協働して「イエローグリーンライトアップキャンペーン」を実施し、エディオンピースウィング広島をイエローグリーンにライトアップした。

エディオンピースウィング広島
ライトアップの様子

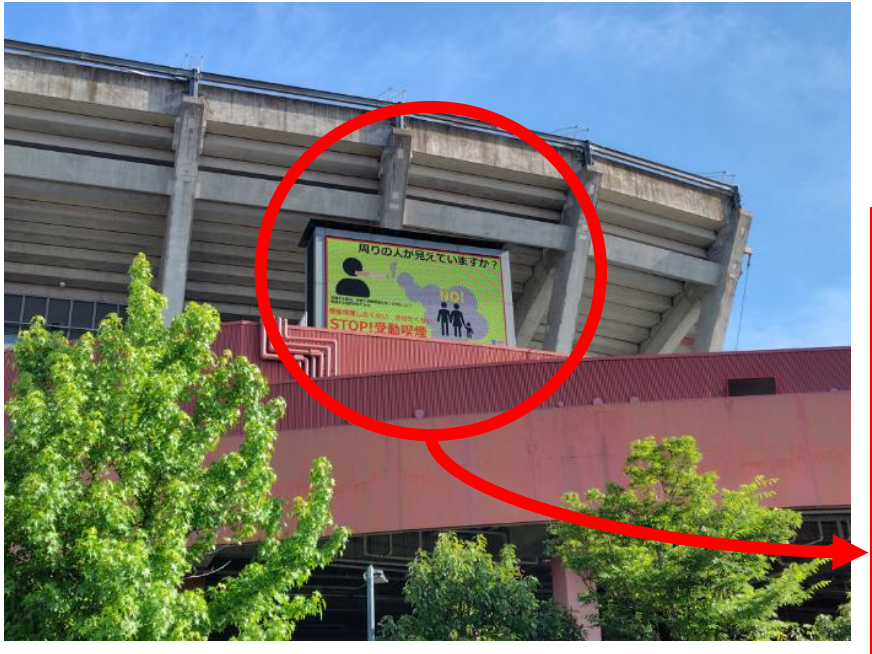




02 今年度の取組

■スポーツ観戦の場での普及啓発

モニターに掲示する画像①



新

今年度から、球場の外側から見えるJR側のモニターに啓発画像を掲示した。



背景の色は
イエローグリーン

02 今年度の取組

■スポーツ観戦の場での普及啓発

モニターに掲示する画像②

コンセプト	20歳未満の禁煙に関する啓発

変更のポイント

・「20歳未満の」という言葉を「学生」のイラストで表現した。
・紙巻たばこだけではなく、加熱式たばこ等も加えた。





02 今年度の取組

■医療機関ポスター掲示

新

分煙施設に掲示しているポスターの一部を改変し、かかりつけ医への相談を促すメッセージにしたポスターを医療機関に送付した。

